

児童発達支援クラブ フォルテ

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

令和5年3月31日

	チェック項目	はい	どちらともいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		お子さんの導線を分けたり、複数のグループに分けて活動を行う等して、混雑しないように工夫している。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			利用者人数や活動によって人数配置を換えているが、十分なスタッフ配置ができていると思う。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		設計上の理由で玄関のスロープ部分の勾配が基準を満たしていない箇所がある。自力で対応困難な箇所はスタッフが介助する等して対応する。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			スタッフについては、年度初めに目標設定を行い、10・3月に自己評価をしている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年アンケートをとり、保護者の方のご意見をいただいている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の開放やホームページ等で公開しているか	○			以前は、年に1度保護者会を行い年度計画やアンケート結果などを知らせていた。ニーズの変化やコロナの状況等により、保護者会は行わず手紙等で報告している。
	7 第三者により外部評価を行い、評価結果につなげているか		○		外部専門家としてOTの木村順先生と元八幡学園職員の土橋良太先生をお招きして、支援等に関するアドバイスを頂いている。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			法人全体研修の他、様々な外部や内部の研修を設けている。昨年度からは、外部顧問(作業療法士・木村順)の指導の下、中堅以上のスタッフが他のスタッフに対して、発達や障がい等のテーマに沿って資料をまとめて、プレゼンテーションする研修会も実施している。
適切な+	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			一人ひとりの自立に向けた計画を保護者と話し合いながら立案している。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			新版K式発達検査等の検査キットを準備している。ただし、標準化されたアセスメントツールについては、検査後に一定期間同一の検査ツールが使用ができないものもある為、使用については慎重に行っている。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月案週案日案の作成を行っている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			活動プログラムについては、日々の取り組みの様子を見ながら、内容を検討している。ただ、「積み重ね」が必要なお子様もいるため、場合によっては「固定化」と、とられてしまう活動もあるかもしれない。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			お子様が事業所に滞在する時間に応じて活動内容を決めている。長期休暇等、時間があるときは、お子様の意見を聞きながら、普段は行けないところに遠出することもある。

又 援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団と個別活動のプログラムを作り、個々のニーズに合わせて行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝は児童事業所全体で打ち合わせ(児童配慮点など)活動前は各事業所で打ち合わせを行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後、事業所で反省、その後法人全体での反省を行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表	○			記録は、個人日誌や活動計画に反省まで記録している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行っていただきたいが、相談員は電話が多い。子供のフェースシートを作成して理解してもらう。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			ガイドラインでチェックを行ったが、ほぼ沿って支援できていると思う。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通したもっともふさわしいものが参画しているか	○			その時間関わっているスタッフを複数参加させるようにしている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校との引継ぎの重要性をスタッフに伝達して利用者の状況の情報を密にするようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	常駐の看護師がないため、利用のする場合は、親子一緒に利用をお願いしている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			必要に応じてケース検討会や見学を実施している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	必要に応じて、情報提供をする用意はあるが、現在の所、そうした申し出はないため行っていない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			センターでの研修にはなるべく参加するよう心がけている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			地域食堂等で近隣の子供たちの出入りを行い交流を深めている。
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	機会があまり得られない。	

関係機関や保護者との連携

28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			可能な限り、送迎時の引き渡しの際や、電話、メール等でお子様の状況についてお知らせしている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		現在ペアレントプログラムの導入について準備を進めている。	
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○		運営規定については、事業所玄関に配置している。支援内容や負担額については、送迎時や面談、重説で説明をしている。	
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			個別面談は要望により随時行っている。	
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			親子ふれあいや就学時前保護者会・動物公園花壇ボランティア保護者交流会などを定期的に行っている。	
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			保護者からの相談苦情は、管理者を通して対処することになっている。	
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月通信を発行、また年に1度「風のささやき」を発行している。	
35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報守秘義務については、各スタッフと誓約書で確認している。	
36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			送迎時に保護者にお子様の様子を伝えたり、必要に応じて連絡を取り合っている。	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			地域食堂・チューリッププロジェクトを行い常に近隣住民と交流を図る努力を行っている。コロナの為状況を見ながら実施している。	
非 常 時 等 の	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各種対応マニュアルをつくり周知している。
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回避難訓練を実施。また非常食を食べる機会を作っている。	
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			スタッフ自身の知識や技術の向上を目的とした研修を実施している。併せて、様々なスタッフ、見学や実習生を招き入れ、様々な方が訪れる風通しの良い環境を作り、虐待の防止に努めている。	
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束についてのマニュアルを作成。やむを得ず必要な場合は保護者への説明とを行ったうえ、許可を得て実施している。	
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			支援スタッフへは、打ち合わせのときに確認して周知する。併せて、事業所の台所に明記している。	

対	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		毎月スタッフ会議のときに法人全体に発表して対処の方法を話し合っている。
---	----	----------------------------	---	--	-------------------------------------